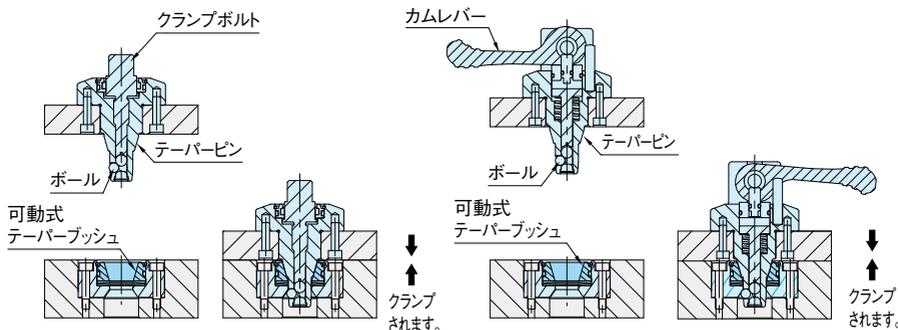


特長



- ・テーパーパー部のはめ合いにより位置決めを行います。
- ・クランプボルト又はカムレバーを締めることでボールが外側に押し出され、可動式テーパープッシュが沈み込み、プレート面が密着します。
- ・クランプボルトは約2回転でクランプ完了します。

※ストレートピンとストレートプッシュを使用する場合、位置決め機能がありません。

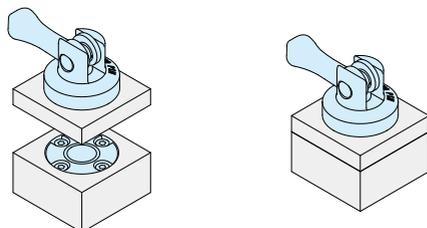
操作手順



①ボールがシャフト内に引込んで  
いることを確認します。

②挿入します。

③挿入後クランプボルトを締めて  
クランプしてください。許容締付  
トルクの範囲内でご使用ください。  
※アンクランプは、逆の手順で行っ  
てください。

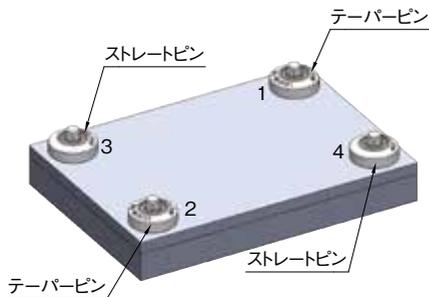


①カムレバーがアンクランプ位置  
にあることを確認します。

②挿入します。

③カムレバーを倒して、クランプ  
してください。  
※アンクランプは、逆の手順で  
行ってください。

## 締付け手順



### CP730

- ①プレート同士が密着していることを確認します。(※)
  - ②1→2→3→4の順番で仮締めを行います。  
仮締めの締付けトルクは、本締めの約50%を目安としてください。
  - ③1→2→3→4の順番で本締めを行います。
- ※テーバープッシュの持上力により、サブプレートが持ち上げられている場合があります。この場合は1→2→3→4の順番で軽く締付け、プレート同士が密着した状態から仮締めを行ってください。持上力は[CP735]テーバープッシュの寸法表をご覧ください。(P.1950 参照)

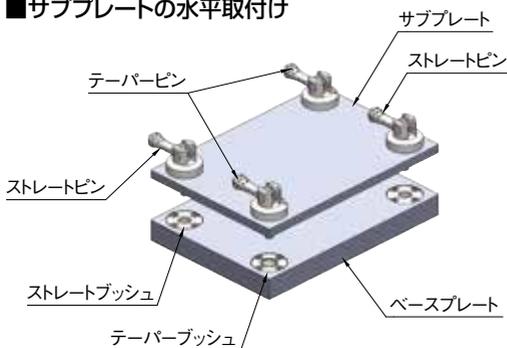
### CP731

- ・1→2→3→4の順番にレバーをクランプ位置まで倒し、クランプします。

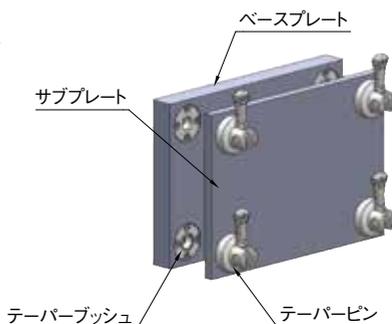
締付け順が異なると、繰り返し位置決め精度 $8\mu\text{m}$ を超える場合があります。

## 使用例・使用方法

### ■サブプレートの水平取付け



### ■サブプレートの垂直取付け



テーバーピンにはテーバーブッシュ、ストレートピンにはストレートブッシュを組合わせてご使用ください。

※テーバーピン・ストレートピンのレバーを持ってのサブプレート取付け取外しは行わないでください。

サイズ	水平取付け		垂直取付け	
	最大積載重量 (kg)	繰り返し位置決め精度	最大積載重量 (kg)	繰り返し位置決め精度
CP730	0939	8 $\mu\text{m}$	40	10 $\mu\text{m}$
CP735	1246		60	
	1656		100	
CP731	0939		25	
CP735	1246		40	
	1656		60	

※テーバーピン、テーバーブッシュを各2個使用した時の値です。

(テーバーピン、テーバーブッシュを各4個使用する場合、最大積載重量は上記の2倍となります。)

※最大積載重量とは、サブプレート、治具、ワークの合計重量です。

※最大積載重量を超えて使用すると、上記の繰り返し位置決め精度を超える場合があります。